

交流ひろば

10月13日 中国切り絵教室



10月13日午前孫文記念館二階講義室にて。陳長康先生を迎えて、中国切り絵教室を開催し6名が参加。パンダの切り絵にチャレンジ。作品を家に飾れるよう、可愛くしあげました。また、先生から作品の土産をいただいた。手を動かすことで脳トレにも繋がることができて、参加して良かった。(後藤みなみ)

10月26日 ネットラジオの収録



FMGIG 西宮にて、「ありのままアズのまま」の番組で齋木賢一企画運営副委員長と一緒に移情閣友の会についてPRしてきました。友の会の年間行事や各同好会の紹介のほか、12月15日開催する35周年記念イベントなどの告知。12月2日放送されたあとはいつでもネットで聞けます。(後藤みなみ)

<https://www.fm-gig.net/> (写真撮影:ありのままアズのまま)

11月2日 台湾国際教育旅行視察団来訪



新竹、台南、屏東などの高校の学校長と兵庫県国際交流協会係のご一行8名が孫文記念館を訪問、川鍋事務局長がご案内。移情閣だよりなどをお渡しして友の会について紹介しました。これからますます台湾修学旅行団体が孫文記念館へ見学に来られるようになればと願っています。(後藤みなみ)

11月21日 「神戸の中の中国」
～孫文ゆかりの地フィールドワーク

新温泉町人教地域部会研修のご一行8名が来神。諏訪山公園孫文舊居の地、兵庫県庁1号館孫文先生大ア

ジア主義講演の地などにご案内したあと、神戸華僑歴史博物館へ。安井三吉先生に華僑の歴史等について詳しく説明していただきました。最後に孫文記念館を見学。今後もこのような研修を増やし、異文化理解を深める機会を作りたい(後藤みなみ)



12月13日 日台交流演奏会



兵庫県立美術館にて、コーラス同好会、二胡同好会が出演し、音楽を通じて日台交流が図られました。4月、台湾交流の旅でお世話になった台南応用科学技術大学音楽学部の呉旭玲先生らとの台湾メドレーなどに150名が魅了されました。(後藤みなみ)

12月24日 中国現代話劇『わが家の客』



24日、後藤みなみさん、長藤博さんとともに、中国現代劇“わが家の客”を鑑賞してまいりました。日本初演となる大作のリーディング公演で、チェロの生演奏とともに、台本を手に持った演技が印象的でした。俳優と観客がともに想像しながら「上海の1976年とその後の世界」を共有していくプロセスが心地よく、時空を越えて「自然災害」「いのち」「家族」「絆」といったテーマや、人としての「在り方生き方」について大いに考え、同時に「そのとき自分だったらどう生きていだろうか」と、その当時にタイムスリップして思いを馳せる機会となりました。私自身、これまで地域ボランティア活動や学校で多言語によるリーディングシアターを行ってききましたが、「舞台上演」というよりも「お試し公演」というリーディングシアターのカジュアルさに、俳優と観客との「自然な対話」をうみ出す可能性と魅力を新たに感じました。(小川 珠代子)